

# 令和3年度神奈川県特別職報酬等審議会委員懇談会の概要

令和3年11月17日(水)

13時00分～14時00分

Zoom開催

## 1 出席者

- (委員) 会長 望 月 正 光 (関東学院大学教授)  
委員 齋 藤 聖 美 (ジェイ・ホント`東短証券株式会社代表取締役)  
委員 池 上 秀 明 (公益社団法人神奈川県医師会副会長)  
委員 石 川 壽々子 (神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長)  
委員 高 橋 二三代 (県政モニターOB会幹事)  
委員 並 木 裕 之 (株式会社神奈川新聞社取締役、相談役)  
委員 吉 坂 義 正 (日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長)

(当局側) 武井副知事、柏崎総務局副局長、西海人事課長、竜江労務給与担当課長

## 2 議事内容

- (1) 特別職の給与等について
- (2) その他

## 3 特別職報酬等審議会委員懇談会の位置づけ

「特別職報酬等審議会」は、「議会の議員の議員報酬の額並びに知事等の給料の額」について、知事の諮問に応じて開催され、調査審議を行うものであるが、「委員懇談会」は、本来の調査審議事項の取扱いのみならず、本県の財政状況や、一般職の給与の状況などを踏まえながら、特別職全体の給与・退職手当などの水準やあり様などについて、同審議会の委員が幅広く意見交換をするための会議としている。

## 4 意見交換の概要

### (1) 特別職の給与等について

事務局から、令和3年の人事委員会勧告の内容、特別職の報酬及び一般職の給与の過去の改定状況、特別職の報酬等の水準等について、全国の状況等を説明し、委員から意見を伺った。

#### ○ 委員からの意見の概要

(給料月額)

- ・コロナ禍で大変な重責を負っている中、長期間にわたり知事の給料の据え置きが続いている。仕事に対応する報酬という意味でも、給料の引上げを検討すべき。

- ・県の財政状況が厳しく、財政調整基金が大幅に目減りしている。また一般職員のボーナスを引き下げている中で、給料の引上げは県民の理解を得られないと考えられ、給料の引上げについては県や国の経済、コロナの状況がひと段落した段階で議論すべき。

(地域手当)

- ・県内で、横浜や県西地域、三浦半島で地域格差は感じられず、地域手当そのもののあり方をもっと議論すべき。
- ・県内の学生アルバイトの賃金に、地域差が出ているわけではなく、県職員の地域手当について引き続き検討してもらいたい。
- ・現状として地域手当は据え置きで構わないが、地域手当が12%ということの妥当性を、データを根拠として、来年度の検討課題として事務局として検討してほしい。

## (2) その他

事務局で懇談会結果の概要版を作成し、委員に確認の上、本県のホームページに公開することとした。